



JTUC-TOKUSHIMA
連合徳島

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



vol. 301

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

当面の日程

- ◎ 3月8日(金) 2019春闘勝利徳島県公務公共サービス労働者総決起集会(自治労プラザ)
- ◎ 3月10日(日) 2019syuntoふれあいファミリーデー(あすたむらんど)
- ◎ 4月 4日(木) 2019中小春闘勝利 未解決組合支援促進徳島総決起集会(ふれあい健康館)



森本共闘会議議長があいさつ

徳島県春闘共闘会議と連合徳島は2019年2月1日、労働福祉会館別館5階ホールにおいて2019春季生活闘争開始宣言集徳島集会及び連合白書学習会を開催し、各構成組織や関係団体から93人が参加した。

冒頭、主催者を代表して森本共闘会議議長は「これまで、『底上げ春闘』を掲げて取り組み一定の成果を上げてきたが、社会の隅々まで届いていないとは言えず、『格差是正』についても道半ばである。2019春季生活闘争は、『賃金』の流れを上げ格差是正の実効性を高めるためには、今まで以上に『賃金水準』に

奮闘、主催者を代表して森本共闘会議議長は「これまで、『底上げ春闘』を掲げて取り組み一定の成果を上げてきたが、社会の隅々まで届いていないとは言えず、『格差是正』についても道半ばである。2019春季生活闘争は、『賃金』の流れを上げ格差是正の実効性を高めるためには、今まで以上に『賃金水準』に

2019春季生活闘争開始宣言集会

「底上げ・底支え」「格差是正」と
「すべての労働者の立場に
たった働き方の実現を」



各構成組織や団体から93人が参加



連合白書を解説する藤川局長

を継続していく。要求書提出は2月末とし、遅くとも3月末までに提出し前段交渉を強化する。すべての働く者の『底上げ・底支え』『格差是正』に向けて、政策・制度実現の取り組みを春季生活闘争における労働諸条件の取り組みとともに運動の両輪と

その後、民間大手部会・新居部会、民間中小部会・官公労働部会・公務労働部会・地域部会・南部地域協議会・松本議長から、春闘での決意を表明。連合徳島青年委員会・小畑委員長からの開始宣言(案)が満場の拍手で承認。島事務局長の閉会挨拶の後、森本議長の団結ガンパローで閉会した。

中小共闘方針共有化

中小組合の賃上げと格差是正、
非正規労働者の均等待遇を実現

徳島県中小労働対策本部
第28回定期総会・研修会



新執行部が就任あいさつ



各構成組織から55人が参加

徳島県中小労働対策本部第28回定期総会・一泊研修会が2019年2月23日、24日の2日間、徳島市内で開催され、県内の中小職場組合から55人が参加した。

井内副議長の開会挨拶の後、岡幹事が議長に選出された。主催者を代表して原田議長から「2018春季生活闘争は、中小・零細企業が多い徳島県で働く未組織の仲間たちにも、賃金条件の改善結果を波及させる取り組みを推し進めてきた。結果、全体平均で昨年水準

を上回ることができた。2019春季生活闘争では、大手との賃金格差の縮小が大きな課題であり、格差是正の闘いを引き続き強化し、今春闘を粘り強く勇気を持って闘っていく」と挨拶。その後、連合徳島島事務局局長、連合本部富田総合労働局長、徳島労働局労働基準部川崎部長、徳島県商工労働観光部労働雇用戦略課阿部課長から来賓の挨拶を受けた。

2018年度活動経過報告、会計決算報告、会計監査報告、議事では2019年度活動基本方針、会計予算、2019年度役員体制を提案し、全体の拍手で承認された。清田副議長の閉会あいさつの後、原田議長は「団結ガンパローで定期総会を閉会した。定期総会終了後、一泊研修会を開催し、徳島労働局健康安全課三木課長より「労働安全衛生の動向」、連合本部富田総合労働局長より「2019春季生活闘争中小共闘の取り組み」、徳島県中小労働対策本部原田議長より「労働法の基礎講座I-①」を講演。

二日目は、連合本部組織局二宮アドバイザーより「労働運動の歴史と課題」、徳島県中小労働対策本部原田議長より「労働法の基礎講座I-②」をテーマに講演が行われた。その後、JAM・全国一般・運輸労連・私鉄総連・農協労連・UAゼンセンから決意表明を受け、最後に、原田議長が「まとめ」を行い、一泊研修会を終えた。

また、連合「第4次税制改革基本大綱(素案・新たな社会保障ビジョン・教育制度に関する中長期政策)」についても説明を受け、意見交換を行った。

2019
連合白書
学習会

「生産性三原則」の意義を 社会全体へ広げよう

2019年2月28日、2019年度第1回連合四国ブロック代表者会議が、徳島市で開催された。連合本部からは、神津里季生連合会長を筆頭に役員11名、四国ブロックからは各県連合の副事務局長以上14名(連合徳島4名)が参加した。

今回のテーマは、①2019春季生活闘争②第19回統一地方選挙③第25回参議院議員選挙④連合ビジョン⑤組織強化特別委員会、その他

また、会議に先立ち、神津連合会長・弓立連合四国ブロック代表幹事(連合愛媛会長)・森本連合徳島会長は、飯泉知事を表敬訪問するとともに、会議後には、



連合を代表してあいさつする神津会長

連合四国ブロック 「2019政策担当者会議」

2020〜2021年度政策制度
要求と提言策定に向けて議論

2019年2月4日、連合四国ブロック「2019政策担当者会議」が松山市で開催され、連合本部各局からは10名、連合四国ブロックからは24名(連合徳島3名)が参加した。

会議では、川島総合政策局長のあいさつに続き、各局担当者から「2020〜2021年度政策・制度要求と提言」策定についての基本的な考え方や、素案の説明を受けた後、参加者との質疑・意見交換を行った。なお、第15回定期大会で確認した「2018〜2019年度運動方針」の各論3「働くことを軸とする安心社会に向けた政策・制度実現の取り組み」に基づき、「2020〜2021年度政策・制度要求と提言」(2019年7月・2021年6月)の策定(2019年6月6日中央委員会決定)することとなっている。

連合徳島3地協 運動方針を承認

連合徳島中央地域協議会
連合徳島西部地域協議会
連合徳島南部地域協議会



西部地協・大西議長の発声で
団結ガンパロウ三唱



中央地協・宮本議長の発声で
団結ガンパロウ三唱



南部地協・松本議長の発声で
団結ガンパロウ三唱

連合徳島中央地域協議会

2018年12月21日、徳島県労働福祉会館502会議室において第9回委員会を開催した。松本副議長が開会あいさつを行い、議長に昇職した。

まず、主催者を代表し宮本議長から「働く者のための働き方改革を実現するために、職場や地域での実践が不可欠。2019春季生活闘争を果敢に闘っていく」と力強くあいさつした。

つづいて、来賓として連合徳島山本副事務局長、労働協同組合長からあいさつした後、第19回統一地方選挙に立候補予定の推薦議員・予定候補者のみなさんから一言ずつ決意のあいさつを頂いた。

委員総数36名中29名(うち委任状提出者3名)の出席を得て、2019活動方針が満場一致で承認された。

益田副議長の退任と閉会あいさつの後、宮本議長の発声で「第19回統一地方選挙と第25回参院選挙の連合推薦候補者全員当選」に向け団結ガンパロウを三唱し意思統一をはかり閉会した。

連合徳島西部地域協議会

連合徳島西部地域協議会は、2018年12月5日、東みよし町大黒屋にて第25回地協委員会を開催した。

冒頭、大西議長が「格差は正に取り組み、真の働き方改革を進め、様々な情報を共有しながら春季生活闘争をしつかりと闘う。地方から政治の構図を変えていくことが必要である」と力強く挨拶した。

続いて連合徳島事務局長、四国労働金庫徳島支店長、高井県議、三好市議を代表して平田市議から連帯と激励のご挨拶をいただいた。

報告事項では、執行部からの2018年度活動報告・会計報告・会計監査報告が拍手で承認された。議事では、2018年度・2019年度活動方針補強、2019年度会計予算、役員補充案が提起、満場一致で承認された。

上田副議長の閉会挨拶のあと、大西議長の「団結ガンパロウ」で閉会した。

連合徳島南部地域協議会

2018年12月14日、ロイヤルガーデンホテルにて第28回南部地協委員会を開催した。

冒頭松本議長が挨拶に立ち「連合のめざす政策実現のために推薦議員全員の当選を勝ち取り、防災や介護、雇用など地方における政策実現力を強化し、さらに労働法制や社会保障制度の改悪阻止へとつなげる政治勢力の拡大を図っていく」と力強く訴えた。



全国一斉集中労働相談ホットライン周知駅前街宣行動

働き過ぎにレッドカード! 2019年4月から
時間外労働に上限規制が導入されます

連合徳島は、2019年2月5日全国一斉集中労働相談「働き過ぎにレッドカード! 2019年4月から」ド! 2019年4月から時間外労働に上限規制が導入されます。全国一斉集中労働相談ホットライン」と2019春季生活闘争の取り組みを周知する街宣行動をJR徳島駅前で行い、各構成組織から20人が参加し、

街宣宣伝とビラ配布活動を実施した。冒頭、連合徳島森本会長から全国一斉集中労働相談ホットラインの開設についての説明のあと、春季生活闘争の取り組みとして「2月1日に、2019春季生活闘争・闘争開始宣言集会を開催し、賃金の『上げ幅』のみならず『賃金水準』を

「反差別・人権確立・福祉の向上をめざした 県民運動を展開しよう」をスローガンに

—第39回部落解放・人権徳島地方研究集会—

次に執行部からの活動報告、会計報告、会計監査報告、新年度にむけた活動方針、会計予算などの案が満場一致で承認され、委員会宣言も採択された。

最後に政治活動の重要性への理解と構成組織組合員の自発的・積極的な参加を訴え、松本議長の音頭による「団結ガンパロウ」で氣勢を上げ、地協委員会を終了した。



連合徳島各構成組織や経営団体、行政関係者など1,845人が参加

第39回部落解放・人権徳島地方研究集会が2019年2月21日、22日の2日間、「すべての力を集めて『部落解放・人権政策』を確立しよう。反差別・人権確立・福祉の向上をめざした県民運動を展開しよう」をスローガンに徳島市内で開催され、労働組合や経営者団体、行政など延べ1,845人が参加した。

また、『サブライチエーション全体的で生み出した付加価値の適正配分』すなわち、「取引の適正化」の重要性をあらゆる機会を捉えて、社会全体に訴えていく」と強調した。続いて、徳島県中小労働対策本部原議長、連合徳島議員ネットワーク事務局長加村徳島市議、四国労働金庫徳島営業本部寺西本部長、国民民主党徳島県総支部連合会庄野代表から全国一斉集中労働相談ホットライン・36協定・長時間労働の問題点、保育士などの処遇改善・待機児童対策の必

また、『サブライチエーション全体的で生み出した付加価値の適正配分』すなわち、「取引の適正化」の重要性をあらゆる機会を捉えて、社会全体に訴えていく」と強調した。続いて、徳島県中小労働対策本部原議長、連合徳島議員ネットワーク事務局長加村徳島市議、四国労働金庫徳島営業本部寺西本部長、国民民主党徳島県総支部連合会庄野代表から全国一斉集中労働相談ホットライン・36協定・長時間労働の問題点、保育士などの処遇改善・待機児童対策の必



道行く人にアピールを行う弁士ら

研修報告をした。記念講演では、近畿大学人権問題研究所の奥田均教授が部落差別解消法を学ぶと題し、部落差別の存在を初めて認め「法律の意義を強調しながら、厳しい差別ほど見えにくい。行政機関が調査し、差別の現実を把握することが求められる」と話した。